

共に、生きる。

日本ペットサミット 2017年次大会
～私の考えるアニマルウェルフェア～

2017年10月22日(日)

一般財団法人 クリステル・ヴィ・アンサンブル



法人概要



Christel
Vie Ensemble
Foundation

法人名	一般財団法人 クリステル・ヴィ・アンサンブル
代表者	代表理事 滝川 クリステル
設立日	2014年5月19日
事業内容	① 動植物の保護及び愛護の啓蒙活動のため、イベント、ワークショップ。 講演会等の企画、制作、実施および運営 ② 動植物の保護及び愛護を目的とする寄付の募集ならびに、動植物の愛護団体、 その支援者等に対する寄付の普及啓発活動。 ③ 動植物の保護および愛護のための交流プラットフォームの作成。
住所	〒107-0062 東京都港区南青山2-29-9-608
ホームページ	http://www.christelfoundation.org



代表理事紹介(2017年10月現在)

◆ 代表理事 滝川クリステル



滝川クリステル CHRISTEL TAKIGAWA

1977年フランス・パリ生まれ。
青山学院大学文学部卒業。
2002～'09年のフジテレビ『ニュース JAPAN』のメインキャスターを経てフリーに。
2013年、東京2020オリンピック・パラリンピック招致“Cool Tokyo”アンバサダーを経て、現在、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会・顧問。
「地球いきもの応援団」、「WWF(世界自然保護基金)ジャパン」顧問なども務め、2013年1月には、フランスの芸術文化勲章シュバリエを受章。
2014年5月に「一般財団法人クリステル・ヴィ・アンサンブル」を設立し、アニマルウェルフェア・生物多様性保全に対する活動を行っている。

設立目的と理念

◆ 設立目的

VIE ENSEMBLEはフランス語で「ともに人生を歩む」「一緒に命」という意味。
同じ価値の命がお互いに支えあう社会、共存・共生する社会の実現を目指しています。

‘共に、生きる’



◆ 活動理念

‘共に、生きる’を活動のスローガンとし、私たちは、人間を含め、お互いの命が共存・共生し、調和する社会の実現を目指しています。声なき声に耳を傾け、あらゆる命の可能性を見つめながら、互いに支えあえる社会の実現を、より深く追求していきます。

◆ 活動内容

Project Zero
プロジェクト・ゼロ

2020年を目標に、アニマル・ウェルフェアに則った犬猫の殺処分ゼロを目指す。

Project Red
プロジェクト・レッド

生態系の頂点にいる危機に瀕した野生動物を救い、生態系を守ることをミッションに活動する。

プロジェクトのご紹介

Project Zero(プロジェクト ゼロ)

◆ 2020年を目標に、アニマルウェルフェアに則った犬猫の殺処分ゼロを目指す。



フォスタープログラム
(※フォスター:一時預かりのボランティア)

フォスターアカデミー(セミナー、ベーシック)の実施

- 2015年より「フォスターアカデミー」を開催し、フォスターの育成、支援を行う
 - ペットに関する様々なボランティアに興味を持つ方々を対象
 - ドッグトレーナー、獣医師などの講師を招いて連続講習会を実施
 - セミナー:延べ800の方が受講(21回開催)
 - ベーシック:約100名の方が受講(犬:第5期生、猫:第2期)

子猫ミルクボランティアへの支援

- 殺処分数が多い子猫を対象に、大阪市獣医師会様が取り組む子猫リレー事業への支援



ウェルカムペット
キャンペーン

冊子を通じた啓蒙活動

- 犬猫を家族に迎え入れる際に「保護犬・保護猫」という選択肢が当たり前になる社会を目指す
- 「保護犬・保護猫」を多くの方が身近な存在として知ってもらうため、体験談や譲渡センターを紹介



Project Red(プロジェクト レッド)

- ◆ 生態系の頂点にいる危機に瀕した野生動物を救い、生態系を守ることをミッションに活動する。

猛禽類医学研究所との 共同プロジェクト

- 狩猟における鉛弾(ライフル弾、散弾)の使用禁止を日本全国で求める署名活動(10万人目標、現在約5万人署名)
署名サイト:<http://goo.gl/qkMwto>
署名用書類:<http://christelfoundation.org/pdf/signature.pdf>
- 寄付や企業からの支援を通して、猛禽類用のドクターカーを寄贈

ボルネオプロジェクト

- エシカルジュエリーのR Jewels Japan とのコラボアクセサリーの売上を、ボルネオ保全トラストジャパンを通じて、セピロク・オランウータン・リハビリテーションセンターで保護されているボルネオゾウの赤ちゃんのミルク代に活用



アニマル・ウェルフェアサミットからの学び



アニマル・ウェルフェアサミットの開催

私たち一人ひとりが、動物たちやアニマル・ウェルフェアについて、学び、考える姿勢が大切であるという理念の基、2016年から「アニマル・ウェルフェア サミット」を開催。



ANIMAL
WELFARE
SUMMIT

2017

Christel
Vie Ensemble
Foundation

5つの自由 (Five Freedoms)

「5つの自由」とは、人間の管理下にある動物が、基本的なニーズを満たして生きる環境を整えること。

1960年代のイギリスで、家畜に対する動物福祉の理念として提唱された。現在では、愛玩動物、実験動物等の人間の管理下にある動物福祉の国際的な指標としても認められている。

- 飢え・渇きからの自由 (Freedom from hunger or thirst)
⇒ 十分な健康と活力維持のための、新鮮な餌および水の確保
- 不快からの自由 (Freedom from discomfort)
⇒ 快適な休息場所などを含めた適切な飼育環境の提供
- 痛み・負傷・病気からの自由 (Freedom from pain, injury or disease)
⇒ 予防措置および迅速な診断と処置の提供
- 本来の行動がとれる自由 (Freedom to express (most) normal behaviour)
⇒ 十分な空間、適切な設備、および仲間の種の確保
- 恐怖・抑圧からの自由 (Freedom from fear and distress)
⇒ 精神的苦痛を回避するための環境と処置の確保

アニマル・ウェルフェアサミット2017のプログラム

第2回目となる2017年は犬猫、産業動物、野生動物などのプログラムも実施した。



ANIMAL
WELFARE
SUMMIT

2017

Christel
Vie Ensemble
Foundation

8月27日(日)「もっと知ろう 動物のこと」

時間	一条ホール(300)	アネックスギャラリー(80)	1号館第0講義室(200)	2号館第1講義室(150)
10:00~10:20	①オープニング～みんなで作るアニマル・ウェルフェア			
10:30~12:00	②あなたにできること～さまざまなボランティアのかたち	③【家族向け】かわいい、楽しい!犬とのふれあい教室	④ためになる子猫学～哺乳期の正しい哺育	⑤【家族向け】保護犬・保護猫と暮らそう
13:00~14:30	⑥【家族向け】みゅーまるオリジナル音楽劇「ぼくの声きこえる?」	⑦【ファミリー】大宮エリーのライブペインティング	⑧【ファミリー】映画「夢は牛のお医者さん」上映会	⑨日本の動物たち～動物園、野生動物、エキゾチックアニマル～
15:00~16:30	⑩トークショー～アニマル・ウェルフェアへの想い～	⑪【家族向け】聴導犬・介助犬と仲良くなるう	⑫人とペットと野生動物の共生へ	

8月28日(月)「日本が目指すアニマル・ウェルフェア」

時間	一条ホール(300)	アネックスギャラリー(80)	1号館第0講義室(200)
10:00~12:00	①殺処分問題に取り組む行政	②ファンドレイジング講座	③ペットショップの過去、現在、そして未来
13:00~14:30	④動物愛護管理法の現状と未来	⑤里山を守る犬たち	⑥産業動物のアニマル・ウェルフェア
15:00~16:00	⑦クロージング～2日間をふりかたて		



(参考) アニマル・ウェルフェアサミット2016のプログラム

8月26日(金) 「各界のリーダーと殺処分ゼロを考える」

時間	福武ホール(シアター:184) 司会:渋谷聖希さん	福武ホール(スタジオ:48) 司会:小寺恵子	時間	福武ホール(シアター:184) 司会:渋谷聖希さん
13:00~ 14:15	①自治体向け「アニマル・ウェルフェア・リーダーズ会議」 (広島市、神石高原町、千代田区、神奈川県、盛岡市 F渋谷先生)	②「ペットと共に生きる効用を科学する」 (講師:西村亮平先生・日本ペットサミット)	17:15~ 17:30	特別プログラム「東京殺処分ゼロを目指して」 小池百合子東京都知事 インタビュー:滝川クリステル
14:30~ 15:45	③「殺処分ゼロを達成するために」 (河瀬さん、小西さん、斎藤さん、藤野さん、滝川さん F松原さん)	④保護団体向け「ファンドレイジング講座」 (講師:イノウエヨシオ)		
16:00~ 17:15	⑤保護団体向け「人と動物の共生する社会~保護団体やフォスターの役割とは~」 (若淵さん、石さん、御子榮さん、F高橋一聡さん)	⑥メディア向け ~アニマルウェルフェアに基づく動物福祉・倫理について~「気づきから本質へ」(アルシャー京子さん、藤田りか子さん、進行役:西平衣里さん)		

8月27日(土) 「もっと好きになる、犬のこと、猫のこと」

時間	福武ホール(シアター:184) 司会:渋谷聖希さん	福武ホール(スタジオ:48) 司会:石塚おけいさん	一多アネックス(ギャラリー:00)	一多アネックス(講義室:30)
10:30~ 11:45	⑥【子ども向け】みゆーまる によるコンサート	⑦学生活動発表会 (RFA, ISAK, APoNe, D-space, 青森県立三本木農業高等学校)	⑧犬楽【小学生以上】 (まるちゃん小野さん、アルシャー京子さん)	⑨体験コーナー 「リアル猫ハット撮影会」(500円・整理券) (佐藤法雪先生)
13:00~ 14:15	⑩アニマルウェルフェア講座(講師:アルシャー京子さん、藤田りか子さん、聞き手:滝川クリステル)	⑪【子ども向け】CAPP体験会 (講師:吉田尚子先生・JAHA)	⑫楽しみながら猫助け (講師:河瀬麻花さん・ネコリブアブリック)	お絵描き教室 (岡田宗徳先生)
14:40~ 15:55	⑬【子ども向け】映画上映会 犬に名前を付ける日 (山田あかね監督)	⑭お仕事犬デモンストレーション (日本介助犬協会, 日本盲導犬協会, 日本聴導犬推進協会)	⑮フォスターアカデミーセミナー(講師:紺井戸大成先生・大阪市獣医師会会長)	
16:30~ 17:00	⑯サミット総括 (滝川さん、大成さん、高橋さん、F松原さん)			

アニマル・ウェルフェアサミットの参加者内訳

サミットの参加者の内訳は、女性(30代～50代)が多く、約8割の方が動物と暮らしていて、ペット業界以外の方も約4割いた。

① 性別

男性	女性	その他	合計
29	146	0	175
16.6%	83.4%	0.0%	

② 年代

10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	合計
1	19	9	36	63	38	5	1	172
0.6%	11.0%	5.2%	20.9%	36.6%	22.1%	2.9%	0.6%	

③ お住いの都道府県

関東	北海道・東北	中部	九州・沖縄	関西	合計
153	11	6	4	2	176
86.9%	6.3%	3.4%	2.3%	1.1%	

男性、若い方、年配の方、動物と暮らしたことがない方、地方にお住いの方、にもアニマルウェルフェアとは何かを知ってもらうきっかけ作りが必要。

⑥ ご職業

ペット業界	学校	動物病院	団体	その他	合計
12	3	4	2	13	34
35.3%	8.8%	11.8%	5.9%	38.2%	

動物関連以外:

会社員	公務員	団体職員	自営業	家事	学生	その他	合計
54	10	7	18	17	21	17	144
37.5%	6.9%	4.9%	12.5%	11.8%	14.6%	11.8%	

④ 動物と暮らしていますか？

犬	猫	その他	動物と暮らしていない	合計
87	58	18	40	203
42.9%	28.6%	8.9%	19.7%	

② 今後(も)、動物と暮らしたいですか？

はい	いいえ	どちらでもない	飼えない	合計
160	1	2	8	171
93.6%	0.6%	1.2%	4.7%	



アニマル・ウェルフェアサミットでの感想(抜粋)

犬猫関連のプログラム、および全体の感想において、アニマルウェルフェアを考える際に、「愛情」、「責任」、「お互い・共に」、「幸せ」、「生きる」等のキーワードがみられた。

5つの自由を大切にしていきたい。

動物を飼うことへの責任を改めて感じた。

保護犬猫のイメージが変わりました。愛情と責任をもって飼う事を再確認できた。

ペットへの愛情に対して、ペットはそれ以上に人間に返してくれる。

命を大切にする、信頼関係を築く、ペット＝モノではなく人の大切なパートナーと思う人が増えるように。

その子にとってのQOLを考えなければいけないと、改めて思った。

自分の飼っている動物の知識を増やすことは、飼われている動物にとっては最も嬉しい。僕自身が動物の知識を増やせば、もっと動物と仲良くなれるし、もっと一緒にいて楽になる。

「アニマルウェルフェアを満たしている犬猫に人は癒される」という言葉がとても心に残った。たくさん満たしてたくさん癒されて、お互いに幸せになる。大好きな動物のために、自分の「動物と生きていく人生」のために。

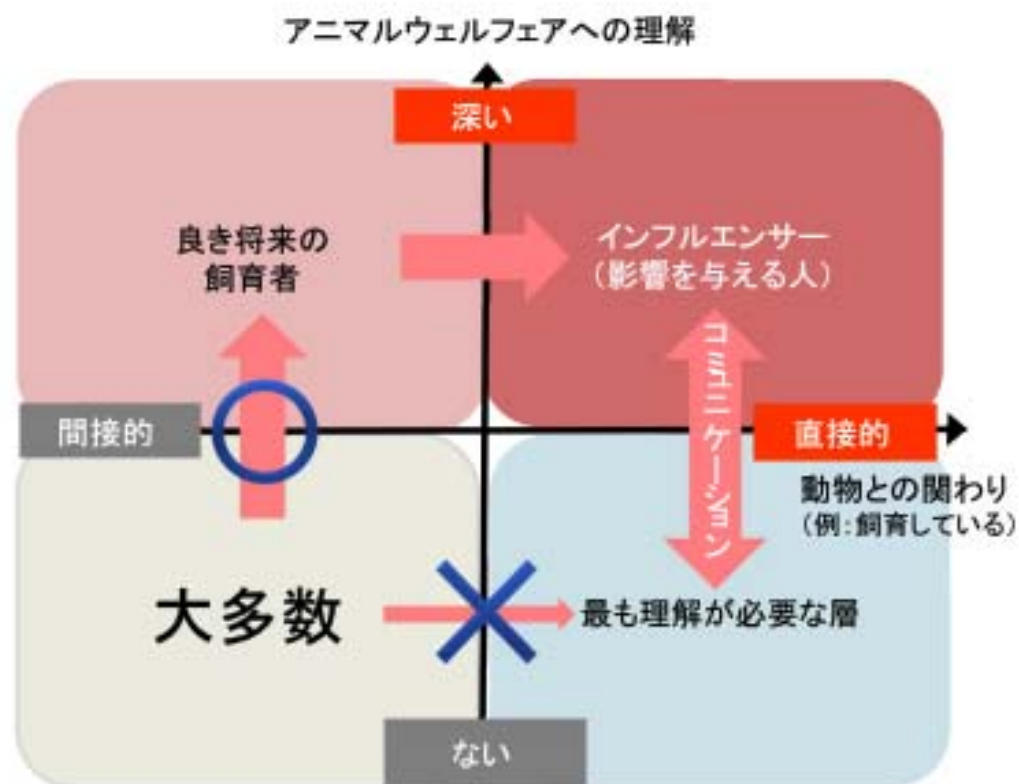
ペットは人間たちに愛情や癒しを与えてくれるが、人間の身勝手さにより命を落としてしまう悲惨さを痛感。人と動物が共に生きる、生きやすい環境＝「アニマルウェルフェア」をより知りたい。

人と動物が共存できる世界「アニマルウェルフェア」に対して更に想いが強くなった。



社会としてアニマルウェルフェアへの理解をどう深めるか

社会全体としてアニマルウェルフェアへの理解を深めるには、動物との関わりがあり、アニマルウェルフェアへの理解が深い“インフルエンサー”の役割が重要となる。



前提

すべての人々は直接的・間接的に、人間の飼育下にある動物と関わって生きていることから、人間と動物の共生のために、アニマルウェルフェアに対する理解をより深める必要がある

目指す社会

すべての人々がアニマルウェルフェアに対する理解を深めることにより、

- 動物とより良く共生でき、
- 動物との関わりが直接的な人と関わりが間接的である人(苦手な人も含める)が共存することができる

共に、生きる。

